



会長あいさつ

栃木市長 鈴木 俊美

栃木市・岩舟町合併協議会だよりの創刊にあたり、皆様にごあいさつ申し上げます。

近年、国・地方の大幅な借金増、景気の不透明感に加え、人口減少、高齢者の激増など、市町村を取り巻く財政状況は益々厳しさを増しております。また、地域のことは地域住民が責任を持って決めることができるよう、地方分権、地域主権の確立が積極的に進められております。このように、我々市町村は今まさに大きな変革の時期を迎えています。

このような状況の中で、住民に最も身近な基礎自治体である市町村は、魅力的で足腰の強い自立都市として強固な行財政基盤を築くとともに、自らの力で、そこに住み、生活している住民の人たちに安心・安全を提供し、利便性を提供していくことが求められており、市町村合併はそうした都市を実現するための有力な手段であります。

ご承知のとおり、栃木市は、平成22年3月に旧栃木市・大平町・藤岡町・都賀町が合併して発足し、さらに、23年10月に西方町と合併しました。現在、事務事業の一元化を進めながら、市民間の不公平感の是正や一体感の醸成に努めるとともに、各地域の特性を生かした個性豊かなまちづくりや、新たな行政課題にも積極的に取り組んでいるところです。

岩舟町と栃木市は、これまで、地理的にも、歴史的にも、経済的にも古くから密接な関係にあり、お互いによき隣人として親交を深めてまいりました。このような両市町が本格的な合併協議を始められることは、大変喜ばしいことと考えております。今後は、両市町の歴史や文化・伝統を尊重しながら、行財政改革の視点に立ち、あるべき将来像を見据えて、真摯に協議を行ってまいりたいと考えておりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【栃木市】

西には「三轟山」、「太平山」、南には「渡良瀬遊水地」など県南のシンボリックな景観と、「渡良瀬川」、「思川」、「巴波川」、「永野川」などの豊かな河川を有し、北部から東部にかけては関東平野に連なる平坦地が広がっています。

